

特定非営利活動法人  
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

# 2023年度法人総会 議案書



※写真(左上から時計回りに)  
3年ぶりに環境フェアへ出展(6. 5)、総会記念イベント「気候変動に適  
応するとは」(6. 11)、国府津「530 CIRCUS」に出展(11. 20)、エ  
コセンター・エコアクション講座にてみんな電力・三宅常務と(12. 17)

- 第1号議案 2022年度事業報告
- 第2号議案 2022年度会計決算報告
- 第3号議案 2023年度事業計画(案)
- 第4号議案 2023年度会計予算(案)
- 第5号議案 2023～24年度役員(案)

2023年6月18日 13:00～13:30  
寿光院

## 第1号議案 2022年度事業報告

2022年度は、当会が中期的に取り組む方向性として、「知らせる・伝える」「出会う・つながる」「見せる・実感させる」の3つが導き出され初めて事業年度だったが、「出会う・つながる」の1年だったと言える。みんな電力を通じた三洋商事(株)との出会いに始まり、江戸川区の気候変動適応計画の策定をきっかけとした白井信雄さん(武蔵野大学工学部サステナビリティ学科教授)との出会い、そして、「気候変動のえどがわ学」をきっかけとした社会福祉法人ひらイルミナルや水辺環境創造グループとの出会い、出会いからつながりに進む過程で、活動に広がりが出てきた。政策面ではゼロエミ江戸川が議会や行政への働きかけを担うことで役割分担が明確になった。その一方で、絵本作成プロジェクトで計画的な進行ができなかったり、HPの更新が滞ってしまったりするなど、悪い意味で当会らしさが出てしまった。

### ●特定非営利活動に係る事業

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

環境絵本『バイバイおんだんか〜チュンと暗やみの森』の作成に向けて、クラウドファンディング実施にむけた企画・調整を進めてきたが、絵本の作成に予想以上の時間を費やしたため、2022年度中にクラウドファンディングを実施することができなかった。一方、総会記念イベントで講師を務められた白井信雄さん(武蔵野大学工学部サステナビリティ学科教授)からの要請を受け、区内事業者などに呼び掛けて「気候変動のえどがわ学」を企画し、これまで2回のミーティングを開催した。

<自己評価>

「気候変動のえどがわ学」は、区内の様々な主体とつながり、互いの活動に相互乗り入れすることで、地域のことをより深く知る機会となったと言える。絵本作成プロジェクトは、開始からすでに2年が経過したにもかかわらず、計画的な進行ができなかったことは反省しなければならない。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

3年ぶりに開催された江戸川区「環境フェア2022」に出展し、三洋商事(株)の出展を得ることができた。また、総会開催記念イベントとして、気候変動適応について学ぶ講演会を2022年6月11日に開催(33名参加)すると共に、2023年2~3月に江戸川区と水をテーマに「エネルギーカフェ2023」(全2回)を開催(延べ33名参加)した。また、武蔵野大学白井研究室と江戸川総合人生大学に登壇し、会の活動や地域の気候変動対策について講話した。

<自己評価>

コロナ禍化で研修会等の実施が難しい状況が続いていたが、講演会やエネルギーカフェを開催できた。また、ZOOMによるオンライン併用によって、これまでより多くの参加者を獲得することができた。一方で気候変動に対する懐疑論の声も聞かれるようになったことは留意すべきと考える。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

松江の家の防災機能強化に向けて、2階部分に太陽光発電システムと蓄電池を設置する工事を2022年11月に実施した。また、えど・そら発電所や松江の家への見学を3回(エコセンター見学者、三洋商事(株)地球環境・未来創造部、有限会社深野商事)受け入れると共に、エネルギーカフェ開催にあたり見学会を開催した。一方、えどがわエコセンターと連携した「まちなか発電所ツアー」や松江の家等での自給イベントについては企画・開催に至らなかった。

<自己評価>

見学受け入れ件数がコロナ前に戻りつつあるものの、より積極的に「知らせる・伝える」企画が開催に至らなかったのは残念である。企画内容が見学受け入れの延長線上にあるため、マンネリ化が企画意欲をそいだ面が否めない。企画内容を見直し、更新していく必要がある。

#### 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

2022年12月に策定された江戸川区「気候変動適応計画」について、2050年カーボンマイナス実現に向けた野心的な目標設定、区民や事業者の自発的な活動に依存することなく断熱強化や再生可能エネルギー

一利用の拡大に誘導するような政策展開を求めて、「ゼロエミ江戸川」による区議会陳情を支援すると共に気候変動適応課との意見交換(2022年5月、2022年8月、2023年1月)に同席した。また、都議会・東京生活者ネットワークによる「市民と行政の協議会」実行委員会に参画し、2022年7月に協議会を実施することができた。

<自己評価>

江戸川区の動きがアクティブになる中で、議会への働きかけや担当課との意見交換を複数回開催できたのは、「ゼロエミ江戸川」の活動に追うところが大きい。ただ、区の姿勢は区民・事業者に行動変容を求めるものでしかなく、社会経済の公正な移行に向けて政策提案力をブラッシュアップさせる必要がある。

## 5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」、「市民電力連絡会」の運営に理事として参画すると共にキャンペーンやイベントの企画等に協力した。また、2023年3月に開催された気候ネットワークの「脱炭素地域づくりオープンフォーラム」に登壇し、気候変動のえどがわ学といった会の活動紹介を行った。また、「ゼロエミッションを実現する会」の活動に参加した。

<自己評価>

環境省主導による脱炭素地域づくりは市民側の活動を活発にさせており、そうした中で当会が一定の存在感を示せたと考える。ただ、気候変動対策をめぐる状況は加速度的に進んでおり、当会としても最新の情報や知見に敏感でなくてはならないと考える。

## 6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

えど・そら発電所や松江の家を防災拠点や給電スポットとして地域に情報発信するため、東松町会とコンタクトを取り、2023年1月には防災ワークショップに参加した。また、みんな電力を通じて三洋商事(株)とつながりができる一方で、「気候変動のえどがわ学」の企画を通じて「社会福祉法人ひらイルミナル」や「水辺環境創造グループ」とも相互の活動交流や情報交換などの機会をつくることができた。

<自己評価>

区内の事業者や団体とつながることができたのは「気候変動のえどがわ学」によるところが大きい。さらには、松江の家を通じて町内会ともつながることができた。これらのつながりをどのように発展させ、当会の活動展開に生かしていくか、そのためには信頼関係の構築が不可欠と言える。

## 7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

HPをスマホ対応にするため大幅なページ改変を実施すると共に、SNS(InstagramやFacebook)を通じた情報発信に努めると共に、活動紹介パンフレットを7年ぶりに作成した。また、『あしもと通信』を3回(Vol.102=2022年5月、Vol.103=2022年9月、Vol.104=2023年1月)発行することができた。このほか、『imidas』連載コラム(工藤律子さん)で活動紹介された。その一方で、関係団体等への『あしもと通信』配置は実施できなかった。

<自己評価>

情報発信については、『あしもと通信』の定期発行が定着化し、「気候変動のえどがわ学」メンバーである同心商店の協力を得て、活動紹介パンフレットを読み物から見せ物に刷新することができた。一方、『あしもと通信』配置ができなかったほか、SNSに対してHPの更新が滞ってしまったのは残念である。

### ●その他の活動に係る事業

#### 1. 発電にかかる事業

えど・そら1~3号機は想定通りの発電量を確保できており、第三者への被害に対する損害賠償保険を含めた保険契約を見直すとともに、3号機の償還手続きを滞りなく行うことができた。償還にあたっては心ある出資者から多額の寄付が寄せられた。

<自己評価> 償還繰り延べは運営会員のみとする

1号機および2号機の償還手続きが控える中で、償還終了後の売電収入をどのように活用していくか検討していく必要がある。→1号機償還は山崎建夫さん保留。1号機で35万円の寄付。2号機で75万万円。返済先送りの場合は金銭消費貸借契約を交わし直すことに。池田・水澤・大河内が償還漏→対応する

## 2022年度 事業活動日誌

- 04.02 ◇見学者受け入れ=えどがわエコセンター見学者
- 04.07 三洋商事を訪問
- 04.09 第10回松江ストーリーマルシェ訪問
- 04.11 ●第1回運営委員会
- 05.11 ◇見学者受け入れ=三洋商事(株)地球環境・未来創造部
- 05.12 気候変動適応課と意見交換
- 05.16 ◎武蔵野大学白井研究室で足温ネットの活動について講話  
●第2回運営委員会
- 05.29 えどがわエコセンター総会に出席
- 06.05 環境フェア2022に出展
- 06.13 ●第3回運営委員会
- 06.21 気候ネットワーク総会に出席
- 06.22 パタゴニア丸の内ストア選挙カフェに参加
- 06.26 柏そらびか2号機お披露目&交流会
- 06.28 『imidias』連載コラム(工藤律子さん)で活動紹介される
- 06.27 ストップフロン全国連絡会総会に出席
- 07.01 ゼロエミ江戸川による区議会公明党との意見交換に参加
- 07.25 ●第4回運営委員会
- 08.03 江戸川区議会生活振興環境委員会を傍聴
- 08.05 市民電力連絡会の調査で「たんたんエナジー」(京都府福知山市)を訪問
- 08.09 ●第5回運営委員会
- 08.20 気候ネットワーク会員交流会に参加
- 08.31 ゼロエミ江戸川による公明党区議と気候変動適応課との懇談に参加
- 09.05 ◇見学者受け入れ=有限会社深野商事
- 09.13 ◎東京ボランティア・市民活動センターの民間助成団体研究協議会で活動報告
- 09.16 ゼロエミ江戸川による自民党区議との懇談に参加
- 09.26 ●第6回運営委員会
- 10.02 第8回ソーラークッカー全国大会in茅ヶ崎に参加
- 10.15 ゼロエミ江戸川・小田原ソーラーシェアリング見学会に参加
- 10.17 ●第7回運営委員会
- 11.01 松江の家PV増強工事現地調査
- 11.15 日本共産党都議団に気候市民会議条例に関する意見表明を送付
- 11.20 530 CIRCUS Vol.4(神奈川県国府津)に出展
- 11.21 ●第8回運営委員会
- 11.26 「気候変動のえどがわ学」第1回ミーティング
- 12.07 ◎江戸川総合人生大学に出講
- 12.17 えどがわエコセンター講演会(講師:みんな電力三宅常務)に参加
- 12.18 市民電力交流会2022に参加
- 12.19 ●第9回運営委員会
- 12.23 東松町会会長関口さん(自治会連合会会長)にご挨拶
- 01.16 ●第10回運営委員会
- 01.20 ゼロエミ江戸川、区気候変動適応課と懇談
- 01.23 東松町会防災ワークショップに参加
- 02.18 第2回「気候変動のえどがわ学」ミーティングを開催
- 02.24 ●第11回運営委員会
- 02.25 エネルギーカフェ2023(第1回)を開催
- 02.26 江戸川子どもおんぶず向け活動報告会
- 03.15 ◎気候ネットワーク「脱炭素地域づくりオープンフォーラム」に登壇
- 03.18 エネルギーカフェ2023(第2回)を開催
- 03.26 日本環境教育学会研究集会で気候変動のえどがわ学について報告
- 03.29 ●第12回運営委員会

## 第2号議案 2022年度会計決算報告

### 活動計算書

自:2022年4月1日 至:2023年3月31日

(単位:円)

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計	摘要
<b>I 経常収益</b>				
売電売上	0	2,148,729	2,148,729	えど・そら売電収入
会員会費収入	35,000	0	35,000	年会費(1,000×35名)
寄付金収入	393,349	0	393,349	会員等からの寄付金
講師派遣収入	184,000	0	184,000	講師等謝金
その他収入	18,000	71,000	89,000	ワークショップ参加費、見学謝礼
受取利息	0	1,923	1,923	預金利息(小松川信用金庫等)
<b>経常収益計</b>	<b>630,349</b>	<b>2,221,652</b>	<b>2,852,001</b>	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>				
会議費	3,103	0	3,103	運営委員会開催費
旅費交通費	1,266	0	1,266	講師交通費負担
消耗品費	4,506	0	4,506	『あしもと通信』発送等
修繕費	291,340	0	291,340	文具、用紙類等
水道光熱費	0	30,404	30,404	電気代等
諸会費	13,000	0	13,000	気候ネットワーク会費等
支払手数料	605	14,410	15,015	振込手数料等
地代家賃	0	50,400	50,400	発電所用地賃料
保険料	0	14,854	14,854	エネルギーカフェ講師料
支払報酬料	21,500	0	21,500	コピー使用料
減価償却費	0	780,040	780,040	えど・そら発電設備(太陽光発電パネル等)
雑費	0	13,000	13,000	活動手当
支払利息	0	11,146	11,146	借入金
<b>2. 管理費</b>				
会議費	2,710	9,550	12,260	総会開催費等
旅費交通費	5,216	18,384	23,600	イベント参加旅費等
通信費	24,821	87,480	112,301	『あしもと通信』発送等
消耗品費	16,946	59,725	76,671	文具、用紙類等
新聞図書費	46	164	210	書籍購入等
諸会費	1,768	6,232	8,000	島根原発訴訟の会費等
支払手数料	842	2,969	3,811	振込手数料等
地代家賃	17,240	60,760	78,000	事務所賃料
支払報酬料	23,517	82,883	106,400	税理士報酬
印刷費	47,203	166,368	213,571	『あしもと通信』印刷等
雑費	41,552	146,448	188,000	活動手当
<b>経常費用計</b>	<b>517,181</b>	<b>1,555,217</b>	<b>2,072,398</b>	
当期経常増減額	113,168	666,435	779,603	
経理区分振替額			0	
税引前当期正味財産増減額			779,603	
法人税、住民税及び事業税			209,197	
当期正味財産増減額			570,406	
前期繰越正味財産			3,680,284	
次期繰越正味財産			4,250,690	

**貸借対照表**  
2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	10,703		
預金	5,896,828		
売掛金	192,032		
前渡金	58,000		
流動資産合計		6,157,563	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
機械装置	5,667,379		
有形固定資産計	5,667,379		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産			
出資金	50,000		
長期前払費用	90,056		
投資その他の資産計	140,056		
固定資産合計		5,807,435	
資産合計			11,964,998
<b>II 負債合計</b>			
1. 流動負債			
未払金	70,403		
預り金	2,205		
未払法人税等	208,700		
流動負債計		281,308	
2. 固定負債			
えど・そら債	6,820,000		
こましん融資	613,000		
固定負債合計		7,433,000	
負債合計			7,714,308
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		3,680,284	
当期正味財産増減額		570,406	
正味財産合計			4,250,690
負債及び正味財産合計			11,964,998

財産目録  
2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
手元現金	10,703	
普通預金		
三菱UFJ銀行 小松川支店	219,277	
小松川信用金庫 菅原橋支店	3,693,353	
ゆうちょ銀行 振替口座	59,615	
小松川信用金庫 定期預金	1,924,583	
売掛金		
売電料	192,032	
前渡金		
絵本作成委託内金	50,000	
諸会費2023年度以降分	8,000	
流動資産合計		6,157,563
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
機械装置(太陽光パネル5ヶ所)	5,667,379	
有形固定資産計	5,667,379	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
出資金(小松川信用金庫)	50,000	
長期前払費用		
損保ジャパン保険料(5年分)	90,056	
投資その他の資産計	140,056	
固定資産合計		5,807,435
資産合計		11,964,998
<b>II 負債合計</b>		
1. 流動負債		
未払金		
事務所コピー機使用料等立替経費未精算分	68,181	
電気料金	2,222	
預り金		
源泉所得税	2,205	
未払法人税等	208,700	
流動負債計		281,308
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	420,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
えど・そら債 3号	2,400,000	
こましん えどそら3号融資	613,000	
固定負債合計		7,433,000
負債合計		7,714,308
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	3,680,284	
当期正味財産増減額	570,406	
正味財産合計		4,250,690
負債及び正味財産合計		11,964,998

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2023年5月29日

監事 平野 将人



## 第3号議案 2023年度事業計画案

### ●特定非営利活動に係る事業

#### ★「3つの方向性」に沿った事業展開へ

日本政府は、東京電力福島第一原発事故の経験と教訓を尊重してきた姿勢をかなぐり捨て、原発の新增設を含む積極活用にかじを切る「GX(グリーン・トランスフォーメーション)基本方針」を決め、必要な法案を可決した。しかし、経済性が無く放射性廃棄物の置き場所すら決まっていない原発と脱炭素に結びつかないアンモニアや水素によるゼロエミッション火力発電では、国民生活への負担は増すばかりであり、原発事故に対する不安を抱え続けることになる。一方、江戸川区は環境省が募集する「脱炭素先行地域」への採択に向けて、新庁舎建設予定地を含む船堀地区の脱炭素化を進めるべく、事業の積み上げを図ろうとしている。都市の人口集中地域で、再生可能エネルギーの電源開発が難しい江戸川区にとって厳しい道のりが予想されるが、都市部では人こそ資源であり、人智を結集した脱炭素の実現に微力ながら協力していく。

かかる情勢下で、当会では3つの方向性＝「知らせる・伝える」「出会う・つながる」「見せる・実感させる」に基づく活動を通じ、様々な主体とつながりながら「気候変動のえどがわ学」などの事業を展開しながら、「知らせる・伝える」「見せる・実感させる」取り組みを進めていく。

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

環境絵本『バイバイおんだんか～チュンと暗やみの森』の作成に向けて、クラウドファンディングを実施するとともに、クラウドファンディングと絵本作成を通じて江戸川区における気候変動対策の必要性を訴えていく。また、「気候変動のえどがわ学」を通じて、気候変動区民会議(仮称)企画に向けた基礎を築いていく。また、12月開催予定のソーラークッカー全国大会(練馬区)に参加する。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

コロナ前の規模に戻った江戸川区環境フェア2023に出展するとともに、総会記念講演会やエネルギーカフェを開催していく。他団体からの講演依頼にも積極的に応えていく。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

えど・そら発電所や松江の家への見学を積極的に受け入れるとともに、エコセンターと連携した「まちなか発電所ツアー」や松江の家等での自給イベントについて内容に工夫を加えながら無理のない範囲で企画・実施していく。

#### 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

江戸川区における気候変動適応計画の推進や脱炭素先行地域づくりについて、区民・事業者の行動変容にとどまらず、社会経済構造の公正な移行を進めていくため、ゼロエミ江戸川による行政や議会への働きかけをサポートするとともに、機会をとらえて政策提言をしていく。

#### 5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」、「市民電力連絡会」の運営に理事として参画すると共にキャンペーンやイベントの企画等に協力していく。また、11月開催予定の東アジア気候フォーラムに向けて協力していく。

#### 6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

東松町会との関りを深めながら、防災拠点としての松江の家の認知に努めるとともに、気候変動のえどがわ学を通じて事業者や団体との活動交流や情報交換などを進めていく。また、「江戸川子どもおんぶず」と子どもの権利条約における気候変動の位置づけについて情報発信に向けた連携を模索していく。



## 7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

『あしもと通信』の着実な発行、SNSだけでなくHPの持続的な更新に努めるとともに、新パンフレットを有効に活用しながら情報を提供・発信していく。

### ●その他の事業

#### 1. 発電にかかる事業

2023年には、1号機および2号機の疑似私募債「えど・そら債」=借入金の返済期限を迎えるため、3号機と同様債権者に対する丁寧な周知に向けた準備を進める。また、償還終了後の売電収入の活用策について検討していく。**屋根貸し場所に還元を。えど・そら3号機は賃借料が安いのではないか。地域に見える形にしていきたい。FIT 制度に依存すべきか。**

## 第4号議案 2023年度会計予算(案)

### 活動計算書

自:2023年4月1日 至:2024年3月31日

(単位:円)

	2022実績	2023予算	摘要
<b>I 経常収益</b>			
売電売上	2,148,729	2,200,000	えど・そら売電収入
会員会費収入	35,000	60,000	年会費(1,000×60名)
寄付金収入	393,349	2,010,000	会員等からの寄付金、クラウドファンディング
講師派遣収入	184,000	100,000	講師等謝金
その他収入	89,000	30,000	ワークショップ参加費、見学謝礼
受取利息	1,923	1,000	預金利息(小松川信用金庫等)
<b>経常収益計</b>	<b>2,852,001</b>	<b>4,401,000</b>	
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
会議費	3,103	5,000	運営委員会開催費
旅費交通費	1,266	0	講師交通費負担
消耗品費	4,506	5,000	『あしもと通信』発送等
修繕費	291,340	250,000	文具、用紙類等
水道光熱費	30,404	35,000	電気代等
諸会費	13,000	10,000	気候ネットワーク会費等
支払手数料	15,015	20,000	振込手数料等
地代家賃	50,400	50,400	発電所用地賃料
保険料	14,854	60,000	エネルギーカフェ講師料
支払報酬料	21,500	30,000	コピー使用料
減価償却費	780,040	700,000	えど・そら発電設備(太陽光発電パネル等)
雑費	13,000	20,000	活動手当
支払利息	11,146	10,000	借入金
<b>2. 管理費</b>			
会議費	12,260	15,000	総会開催費等
旅費交通費	23,600	30,000	イベント参加旅費等
通信費	112,301	100,000	『あしもと通信』発送等
消耗品費	76,671	70,000	文具、用紙類等
新聞図書費	210	0	書籍購入等
諸会費	8,000	4,000	島根原発訴訟の会会費等
支払手数料	3,811	4,000	振込手数料等
地代家賃	78,000	78,000	事務所賃料
支払報酬料	106,400	110,000	税理士報酬
印刷費	213,571	2,250,000	『あしもと通信』、環境絵本印刷等
雑費	188,000	180,000	活動手当
<b>経常費用計</b>	<b>2,072,398</b>	<b>4,036,400</b>	
当期経常増減額	779,603	364,600	
経理区分振替額	0	0	
税引前当期正味財産増減額	779,603	364,600	
法人税、住民税及び事業税	209,197	200,000	
当期正味財産増減額	570,406	164,600	
前期繰越正味財産	3,680,284	3,680,284	
次期繰越正味財産	4,250,690	3,844,884	

※返済積立金として 1,440,000 円(120,000 円×12 月)を積み立てる予定である。

※パネル処理費用として 60,000 円(5,000 円×12 月)を積み立てる予定である。

## 第5号議案 2023～24年度役員案について

	役名	(フリガナ) 氏 名	住 所 又 は 居 所	備 考	再新
1	理事	ナラ ユキ 奈良 由貴	東京都江戸川区臨海町2丁目2番8号 504号		再
2	理事	ヤマザキ モトヒロ 山崎 求博	東京都江戸川区中葛西7丁目7番8号 ダイアパレス葛西Ⅱ504号室	事務局長	再
3	理事	オオコウチ ヒデヒト 大河内 秀人	東京都江戸川区東小松川2丁目5番12号		再
4	理事	ヤナギザワ イチロウ 柳澤 一郎	東京都江戸川区東小岩4丁目6番10号		再
5	理事	フジイ アキコ 藤居 阿紀子	東京都江戸川区清新町1丁目4番15号 シティコープ清新706号室		再
6	監事	ヒラノ マサト 平野 将人	松戸市常盤平2丁目24番1号 公団 1-48-405		再